

# 2011年度 事業報告書

公益財団法人 トトロのふるさと基金

# 2011年度 事業報告書

公益財団法人 トトロのふるさと基金

## 1. 狭山丘陵において、自然環境及び歴史的景観の保存及び活用のための土地又は文化財を取得する事業

基金の主たる事業であるナショナル・トラスト活動を推進するために、寄付の呼びかけを積極的に行うとともに、狭山丘陵の土地等を取得する活動を行った。

### (1) トトロの森基金への寄付

2011年度のトトロの森基金への寄付は、488件、16,843,113円が寄せられ、基金の累計は総額410,199,065円に達した。

### (2) トラスト地の取得

新たなトラスト地「トトロの森15号地」、「トトロの森16号地」を取得した。

- ・トトロの森15号地 1247.86平米 無償寄附(評価額:6,871千円) 2011年10月30日取得
- ・トトロの森16号地 1045.97平米 無償寄附(評価額:5,650千円) 2012年3月19日取得

### (3) 新たなトラスト地の取得を目指した活動

#### ① 地権者等への訪問及び連絡等

- ・東村山市秋津町 吉川不動産訪問(6月3日、1月13日)、東村山市長訪問(10月18日)
- ・北野南二丁目 小暮晴彦さん訪問(12月1日、3月10日、3月19日)
- ・菩提樹 地権者との連絡(9月8日、12月7日)

#### ② 関東財務局の競売情報を定期的に点検し、詳細について問合せを行った。

### (4) 土地等取得検討委員会の開催

土地等取得検討委員会規程に基づき設置した土地等取得検討委員会を1回開催した。

9月1日 所沢市上山口(チカタ)の山林の取得についてその他の案件を検討

## 2. 取得した土地又は文化財を保存するとともに、その保存に支障のない範囲で一般の活用にも供する事業及びその保存・活用のために必要な復元を行う事業

### 2-1 里山の管理の実践(里山部会事業)

トラスト地の適正な管理を実践するとともに、狭山丘陵の里山の管理に関して関係団体や行政との協働を進め、地元の農業者との連携を図りながら、地域住民や都市住民を主体とした里山の保全管理活動を行った。

### (1) トラスト地等を活用して行う里山管理の実践

#### ① ナショナル・トラスト活動により取得した「トトロの森」の管理

1号地、2号地、4号地、6号地、7号地、9号地、11号地、13号地において、毎月第一日曜日の定例活動日及び臨時活動日に「トトロの森で何かし隊」のメンバーによる定期的な管理作業を行った。うち、2号地、11号地は協力団体と合同で管理作業を行った。5号地、10号地、12号地、13号地、14号地は協力団体による管理作業が行われた。その他、必要に応じてトラスト地管理作業チームが作業をおこなった。

#### ② 「トトロの森で何かし隊」の活動

a. トトロの森の管理作業を以下の日程で行った。

2号地 7月3日

4号地 5月8日、9月4日

- 6号地 8月7日、8月27日
- 7号地 1月8日、
- 9号地 9月4日、
- 11号地 6月5日、12月11日、
- 13号地 10月2日、11月5日、11月26日、1月14日
- b. トトロの森への案内板設置作業を以下の日程で行った。
  - 7号地 7月31日
  - 8号地 8月10日
  - 12号地 9月6日
  - 13号地 7月30日
  - 14号地 11月3日
- c. 伐採竹の活用および技術の継承として炭焼きを実施した。(2月4日、12日、16日)
- d. ボランティア登録説明会を4月24日、5月8日、9月10日の計3回開催した。
- e. トラスト地巡りを6月25日と11月23日に実施した。また、2月5日の「トトロのふるさと  
おおそうじ」に参加した。
- f. 11月23日の収穫祭に参加した。
- g. 3月4日に交流会を行った。
- h. 企業ボランティア対応のサポートを行った。
- i. クロスケの家の庭木の手入れ作業の協力を行った。(12月25日)
- j. 見まわり隊によるトラスト地の見まわりを行った。
- ③ 協力団体によるトラスト地の管理作業
  - トトロの森の管理作業を以下の日程で行った。
    - a. リコーボランティアグループ
      - 6月25日、11月26日、1月28日、3月24日 (5号地)
      - 7月23日、9月23日、12月23日 (13号地)
    - b. ゆめとこファーム (10号地)
      - 7月23日、10月9日、10月13日、12月24日
    - c. 北野の谷戸の芽会 (11号地)
      - 詳細は2-2 (1) 参照
    - d. 北中ネイチャークラブ (12号地)
      - 7月24日、12月4日、1月8日、2月12日、3月11日
    - e. エンジェルファーム (12号地)
      - 3月13日、3月20日
    - f. 地域の自然を考える会 (12号地)
      - 2月28日、3月27日
    - g. 砂川流域ネットワーク (14号地)
      - 4月10日、11月4日、11月22日、11月27日
- ④ トラスト地管理作業チームによるトラスト地の管理作業
  - チェンソーを使用した管理作業を以下の日程で行った。
    - 6号地 11月22日
    - 7号地 1月30日、2月27日
    - 11号地 12月14日、1月30日
    - 12号地 2月14日、2月28日
- ⑤ 企業ボランティアによるトラスト地の管理作業
  - 企業ボランティアの協力を得て、トトロの森の管理作業を以下の日程で行った。

13号地 2月11日 あいおいニッセイ同和損保あんしん24  
クロスケの家竹林 7月9日 オムロン労働組合  
10月15日 安心ダイヤル  
11月12日 熊谷組

⑥ 業者委託によるトラスト地の管理作業

危険木・外来種の除去等のため、業者に委託して次のような管理作業を行った。

2号地 3月8日～3月15日 住宅際危険木（コナラ・サクラ他）の伐採作業

6号地 10月25日 台風による倒木処理作業

8号地 9月27日 台風による倒木処理作業

10月16日 台風による倒木処理作業

一部の木材は、薪ストーブ業者への売払い処分を行った。

(2) 講習会

① 救急講習会

7月30日：野外での怪我事故に備えて、予防法、応急処置法などを学ぶ講習会を開催した。

② 里山管理技術研修会

3月17日：里山管理作業に必要な機具の操作方法等についての講習および実習を行った。

(3) 狭山丘陵各地で行われている管理作業への協力

① 協力団体による管理作業への軽トラ、農具等の貸し出し協力を行った。

② 収穫祭で協力団体の活動紹介を展示し、新規参加者の獲得に協力した。

③ 「トトロの里で耕し隊」による所沢市久米における雑木林と農地の管理作業に協力した。

(4) 里山部会の開催

里山部会を11回開催した。

4月22日、6月3日、7月1日、8月5日、9月9日、10月7日、11月4日、12月2日、1月13日、2月3日、3月2日

## 2-2 北野の谷戸保全活動の推進（地域保全活動部会事業）

地域保全活動部会を設置して、2010年度から始められた北野の谷戸保全活動を引き継いだ。ボランティア参加者と地元の方々の協力を得て、北野の谷戸の里山環境保全作業を行った。復田した田んぼでの稲作やトトロの森11号地での雑木林管理作業を行い、2012年1月からは畑の開墾作業にも着手した。

(1) 里山保全作業等の実施

4月17日 ボランティア説明会、水田の畦修復

5月15日 代掻き、田ならし、シビ押し（稲株を地中に埋め込む）

5月29日 苗をほぐす作業（この日に予定していた田植えを延期したため）

6月5日 田植え（うるち米）、11号地の下草刈り

6月17日 田植え（もち米）

6月26日 水田の草取り、畦の草取り、11号地の間伐

7月17日 水田の草取り、11号地の間伐

7月31日 水田の草取り、7号地の案内板設置、11号地の間伐

8月28日 畦の草取り、倒伏した稲を起こす作業

9月23日 稲刈りの準備、はざかけづくり

10月2日 稲刈り（うるち米）

10月16日 稲刈り（もち米）

11月3日 脱穀（うるち米・もち米）

- 11月23日 「収穫祭」参加（釜炊きご飯、もちつき）
- 12月11日 11号地間伐、11号地入口六ツ家川橋づくり、稲わらを水田にまく作業
- 12月18日 「狭山丘陵田んぼのつどい」参加
- 1月29日 畑の開墾
- 2月12日 畑の開墾、11号地落ち葉はき
- 3月4日 ジャガイモ植付け
- 3月25日 ビデオ鑑賞会（図師小野路、菩提樹田んぼ）、水田の畦修復、畑の開墾

(2) 部会会議の開催

地域保全活動部会を10回開催した。

5月6日、5月15日、6月10日、6月26日、8月28日、9月30日、11月3日、12月11日、1月29日、3月2日

### 2-3 クロスケの家の活用と管理

4月からクロスケの家の一般公開を開始した。また、利用規程を定め、外部からの利用申し込みに対応する仕組みを整えた。

公開・活用のための整備を進め、茶工場には旧式の製茶機械と手もみ茶用のホイロを導入、土蔵は展示場として活用するため展示棚およびピックアップレールを設置した。

団体見学として、近隣小学校の授業等学習の場としても活用された。

(1) クロスケの家基金

2011年度のクロスケの家基金への寄付は、143件、693,258円であった。

(2) 一般公開 一般見学者及び団体見学者の月別内訳は下表の通りであった。

	一般見学者				団体見学者	合計
	大人（大学生以上）		子ども			
	男	女	男	女		
4月	94	93	22	11	183	403
5月	72	93	20	19	98	302
6月	63	83	17	15	194	372
7月	79	90	20	21	78	288
8月	139	180	41	21	68	449
9月	100	107	21	25	46	299
10月	89	152	17	14	76	336
11月	83	97	9	16	103	308
12月	54	75	10	8	54	201
1月	32	34	8	3	94	171
2月	54	59	6	6	101	226
3月	77	105	20	23	273	498
合計	936	1168	211	182	1368	3853

### (3) クロスケの家管理運営委員会の開催

一般公開で生じた問題点や今後活用を進めていく上での課題を検討し、それを基にクロスケの家マスタープラン策定に向けて検討を重ねた。

	年月日	主な検討項目
第1回	6月18日	・クロスケの家一般公開についての報告 ・活用マスタープランに関する意見交換 ・クロスケの家の利用に関する意見交換
第2回	10月8日	・クロスケの家一般公開についての報告 ・クロスケの家利用規定(案)及びクロスケの家管理運営委員会規定(一部改正案)の検討 ・クロスケの家マスタープラン(案)の検討
第3回	2月4日	・クロスケの家一般公開についての報告 ・クロスケの家マスタープラン(案)の検討

### (4) クロスケの家管理ボランティア

一般公開日に合わせ、来館者への解説・対応を行った。登録メンバーは4人(2011年度末時点)で、7・8月の見学者数が多い時期に5回活動を行った。

1月～3月にかけては年中行事の再現として12月24日に注連縄飾りづくり、2月14日にお雛人形飾りを試みた。

### (5) 展示会の開催

蔵では以下の日程で企画展示会を開催した。

- ・7月20日～9月14日 企画展「野山の忘れ物」
- ・9月17日～11月22日 企画写真展「狭山丘陵 澄んだレンズの目で丘陵を」
- ・11月23日～1月18日 パネル展示・協力団体活動紹介
- ・1月21日～3月21日 企画写真展「狭山丘陵で見られる鳥たち」
- ・3月24日～ 企画展「狭山丘陵の風景と野鳥 父と子二人展」

## 3. 狭山丘陵の価値を広く伝えるための普及啓発事業及び環境教育事業

### 3-1 狭山丘陵の保全のための普及啓発活動

狭山丘陵の自然やそこに息づく文化などに関する情報を提供し、保全に向けた世論作りをすすめた。ナショナル・トラスト活動や里山保全に関する取材などに対して積極的に対応し、基金の活動に対する理解を促した。また、会員の増加に努めた。

#### (1) 会員の状況

2011年度末の登録会員は1287人で、内訳は正会員994人、高校生以下9人、家族会員251人、賛助会員24人、法人会員9社であった。前年度と比べ47人の減少であった。

#### (2) 会報発行等の広報活動の充実

支援者向け機関紙『トトロの森から』を会員・寄付者に向けて発行した。

第67号発行 4月18日

第68号発行 6月30日

第69号発行 9月30日

第70号発行 1月20日

#### (3) 狭山丘陵における体験活動の実施

ナショナル・トラスト活動や狭山丘陵周辺の環境保全活動の普及啓発のための活動を行った。

- ・2月5日に、39名の参加により「トトロのふるさとのおそうじ」を行った。

・オムロン労働組合、安心ダイヤル、熊谷組、あいおいニッセイ同和損保あんしん 24 と、企業や団体の協力を得てトラスト地の維持管理作業に取り組んだ。

(4) ホームページの更新と運営

公式ホームページに「トトロの森の四季」ページを新設、クロスケの家ページにはアクセスマップやイベント・展示情報等を新設・拡充した。

何かし隊ページについてはトップページの改訂をおこない、全体の階層構造の変更およびバナーの新設を行い、基金の活動について広く紹介するとともに、入会の呼びかけを行った。

イベント情報やボランティア情報・報告などを毎月、定期的に更新し、閲覧状況の分析を行った。

(5) 一般への広報活動

・5月11日～16日（第13回国際バラとガーデニングショウへの出展）

・5月24日、11月19日（JTBトトロの森ツアー案内）

・11月13日（秋色のトトロの森ウォーキング）

(6) ホームページ検討会の開催

ホームページの内容、運用等の検討会を4回開催した。

10月29日、12月17日、1月21日、2月25日

### 3-2 里山の保全に関する環境教育の実施（環境教育部会事業）

狭山丘陵及びその周辺地域における自然環境や歴史的景観を維持・保全することの意義や大切さを広く社会に伝えることを目的として環境教育活動に取り組んだ。

狭山丘陵いきものふれあいの里センターをフィールドとした取り組みと、トトロの森及びクロスケの家をフィールドとした取り組みを行った。

(1) 狭山丘陵いきものふれあいの里センター指定管理事業

2011年度の指定管理業務事業報告書（別紙）

(2) 「総合的な学習の時間」等を活用した学校での環境教育への協力

①クロスケの家において総合的な学習の時間等への協力を行った。

6月14日 富岡中学校2年生

6月15日 三ヶ島小学校2年生（生活科）

6月29日 三ヶ島小学校3年生（総合的な学習の時間）

9月6日 北秋津小学校3年生

2月24日 三ヶ島小学校4年生（総合的な学習の時間）

②いきものふれあいの里センターにおいて、年間を通して学校に協力した。

所沢市立荒幡小学校10回、小手指小学校5回、北秋津小学校4回、泉小学校8回、南小学校3回、山口小2回、北小学校1回、並木小学校1回、延べ34回（生徒数3,102名）となる。

(3) 環境教育に関する講座・学習会

①いきものふれあいの里センターにおいて雑木林の維持管理に関する講座を年4回開催した。

6月19日 みんなが暮らせる雑木林

9月25日 地域の農業者が担う里山保全一町田歴環管理組合の取組

12月18日 狭山丘陵田んぼのつどい～市民参加の田んぼ再生プロジェクト～

2月18日 トラスト取得地を中心に里山保全～今、天覧山・東やつほとけどじょうの里が楽しい！～

②クロスケの家において「三ヶ島学習会」を開催した。

5月27日 地名と石仏から見える三ヶ島の歴史と民俗

9月3日 三ヶ島自慢

12月3日 三ヶ島の年中行事とあそび

(4) 環境教育に関するワークショップ

8月2日に、教員を対象とした「新たな環境教育の実践をめざしたワークショップ」を開催した。

(5) バリアフリープロジェクト

いきものふれあいの里センターにてろう者を対象とした体験学習を年2回実施した。

11月5日 ろう者のための環境サークル「こもれび」

11月19日 坂戸ろう学校「坂戸クラブ」

(6) 環境教育部会の開催

環境教育部会を9回開催した。

5月14日、6月19日、7月31日、9月25日、10月23日、12月18日、1月15日、  
2月25日、3月25日

## 4. 狭山丘陵における自然環境等に関する調査及び情報収集事業

### 4-1 里山の自然環境に関する調査・研究（調査部会事業）

狭山丘陵及びその周辺地域における自然環境の調査研究を行い、生物多様性等に係る価値の把握に努めた。また、トラスト地の適切な管理方針策定のための提言を行い、調査した結果は自然環境調査報告書としてまとめ、発行した。

(1) 狭山丘陵の自然環境調査の実施

①トラスト地とその周辺の植生調査を8回行った。

4月3日、4月16日、5月1日、5月15日、6月12日、6月25日、11月30日、12月4日

②北野の谷戸の水生動物調査を8回行った。

4月27日、7月10日、7月22日、8月27日、2月23日、2月24日、2月25日、2月27日

③三ヶ島湿地にてトウキョウサンショウウオの卵嚢数調査を2回行った。

4月1日、3月16日

④北野の谷戸とクロスケの家裏の砂川にてホタルの調査を2回行った。

7月8日、7月12日

⑤北野の谷戸の湧水の有害物質調査を実施した。

公益財団法人サイサン環境保全基金の助成を受けて、北野の谷戸の水田へ引き込んでいる湧水の有害物質調査を実施した。その結果、環境基準を上回る汚染がないことを確認した。

サンプル採取日 9月6日

分析機関 早稲田大学環境保全センター

(2) 管理方針の提言

12、13、14号地の調査結果をもとに管理方針案をまとめ、理事会へ提案した。

(3) 自然環境調査報告書（第9集）の発行

トラスト地とその周辺の自然環境及び北野の谷戸の水生動物調査、有害物質調査、三ヶ島湿地におけるトウキョウサンショウウオ卵嚢数調査を自然環境調査報告書（第9集）としてまとめ、150部発行した。（3月17日）

狭山丘陵周辺の行政関係機関や図書館、博物館、関係団体、関係者および国会図書館へ90部配布した。

(4) 野草サミットへの参加

10月15日に行われた第5回野草サミットに参加。トトロの森13号地と14号地のポスター展示を行った。また、会場にてトトロのふるさと基金の活動を紹介し、書籍やグッズの販売を行った。

(5) 調査部会の開催

調査部会を、以下の日程で8回開催した。

4月3日、6月12日、7月10日、8月27日、9月25日、12月4日、1月22日、2月19日

#### 4-2 狭山丘陵に関わる自然環境及び歴史的景観の保護並びにそれに関する情報収集活動

狭山丘陵の地域資源の保全に資する情報の収集をすすめ、必要に応じて関係自治体その他の団体との協議を行い、狭山丘陵保全のための活動を展開した。

##### (1) 関係自治体、企業等との協議

- ① さいたま緑の森博物館（所沢市分）に関する取り組み
  - ・今後の展開について県から情報提供を受ける。（3月7日）
  - ・比良の丘周辺道路舗装問題  
現地立会い・所沢市他関係者（3月16日）、  
所沢市建設部長に要望（3月19日）  
地元関係者を交えた打合せ（3月26日）
- ② 東大和市芋窪緑地（アメリカンホームズ）の保護に関する取り組み
  - ・7月25日 アメリカンホームズ訪問（情報収集及びトラスト地として取得申し込み）
  - ・1月19日 同社訪問（金額提示）
  - ・1月21日 現地に墓地開発計画の看板が設置される。
  - ・2月2日（都の関係行政機関に情報収集）
- ③ 所沢市緑化推進会議出席（8月19日、2月10日）
- ④ 携帯電話用中継基地局設置に関する協議  
KDDI 担当者との協議（5月18日、3月26日）
- ⑤ JR 高圧線の工事計画に関する協議  
JR 担当者来所（12月7日）、打合せ（12月22日）、JR への報告（12月26日）

##### (2) 地域住民、関係団体との連携の強化

- ① 日本ナショナル・トラスト協会総会出席（6月4日）
- ② 菩提樹池と周辺緑地に係る連絡会議出席（9月26日、2月14日）
- ③ 都立野山北・六道山公園管理運営協議会出席  
5月8日、9月4日、12月3日、3月10日
- ④ 狭山3公園（狭山公園、東大和公園、八国山緑地）管理運営協議会出席（7月30日）

##### (3) 情報収集・連携協力活動事業の打合せ

情報収集・連携協力活動事業打合せを、下記のように5回開催した。

6月11日、7月9日、12月22日、1月25日、2月18日

##### (4) その他

所沢市北中ふるさとの緑の景観地指定説明会（10月2日）、同 指定（3月23日）

#### 5. その他この法人の目的を達成するために必要な事業

公益財団法人としての適切な運営のために、執行部会議等を開催して的確で迅速な意思決定を行うとともに、規程類を整備するなど内部管理体制の整備を図った。ナショナル・トラスト活動や里山保全を進める関係団体からの照会・相談等への対応を行った。また、様々なメディアからの取材等への対応、丘陵案内やシンポジウムへの参加などを実施した。その他、各事業の推進に必要な資金の一部をまかなうために、収益事業を行った。

##### (1) 執行部会議の開催（7回）

6月10日、8月31日、10月17日、12月1日、1月23日、2月27日、3月24日

(2) 常任理事会の開催 (10回)

4月9日(準備会)、5月27日、6月24日、7月29日、9月2日、9月30日、10月30日、12月9日、1月27日、2月24日

(3) 顧問会議の開催

顧問の宮崎駿氏、池谷奉文氏の出席を得て、11月6日に開催した。

(4) 公益財団法人の規程の整備

- ・情報公開規程(5月22日施行)
- ・評議員会運営規則(6月12日施行)
- ・理事の職務権限規程(10月30日施行)
- ・理事会運営規則(10月30日施行)
- ・クロスケの家利用規程(10月30日施行)
- ・土地等の取得に関する規程及びクロスケの家管理運営委員会規程の一部改正(10月30日施行)
- ・個人情報の保護に関する規定(3月17日施行)
- ・ホームページ管理運用規程(3月17日施行)
- ・給与規程の一部改正(4月1日施行)

(5) 照会、相談等への対応及び活動広報等

基金の活動紹介と狭山丘陵の案内等を行った。

① 講演

1月28日 山口里山学(山口公民館)

② 取材等への対応

4月11日(埼玉県観光課「彩の国だより5月号」)、4月13日(花小金井タウン情報誌「GLEEN LIFE BOOK」)、4月18日(るるぶ埼玉12)、4月28日(読売新聞)、5月24日(タウン通信所沢版)、6月14日(西武鉄道のんびり散歩)、6月8日(ロケーションジャパン)、6月13日(るるぶ埼玉川越)、6月21日(東京商工リサーチ企業概況)、6月23日(HONDA情報誌)、7月7日(東京FM)、7月11日(所沢市広報)、7月23日(読売新聞)、7月26日(毎日新聞トクブレ)、8月20日(るるぶ観光データベース)、8月2日(まっぷるマガジン埼玉)、8月22日(日高市産業振興課)、9月22日(Aさんの庭)、10月18日(雑誌新聞総カタログ)、11月19日(那須塩原市)、1月5日(雑誌「クーヨン」)、1月26日(るるぶ観光データベース)、2月2日(講談社「本当にあった話」)、2月8日(観光庁WEBサイト「Visit Japan」)、2月13日(川越所沢Walker)、2月24日(るるぶ観光データベース)、2月26日(西武観光バスマップ)、3月3日(北海道新聞日曜版)、3月19日(NHK)

③ 教材への写真等の提供

4月30日(文溪堂WEB教材)、8月23日(東京書籍教科書)、1月20日(Z会教材)、1月30日(東京書籍教科書)、3月19日(日本入試センター教材)

④ 丘陵案内

5月7日(生活クラブ)、5月24日(JTB首都圏)、6月11日(日野市)、7月9日(東京経済大学)、8月4日(中央大学)、10月21日(株式会社インテージ)、11月19日(JTB首都圏)、12月17日(東京学芸大学)、1月21日(東京学芸大学)、2月13日(埼玉大学)

⑤ 企業ボランティアの受け入れ

7月9日(オムロン労働組合)、10月16日(安心ダイヤル)、11月12日(熊谷組グループ)、2月11日(あいおいニッセイ同和損保あんしん24)

⑥ シンポジウムへの参加

8月20日(東京の緑を守るシンポジウム)  
11月9日(アジア太平洋環境会議)  
3月31日(明治大学)

⑦ 表彰

5月10日（NHK功労者表彰受賞）

⑧ インターンシップ受入れ

8月5日～14日 長野大学

⑨ 職員研修会

4月18日（緑の森博物館区域）

(6) 収益事業の実施

トトロファンダグッズ等の企画・製作・販売や出版物の販売等を行った。

① 収益事業検討会の開催（5回）

10月22日、12月3日、1月14日、2月18日、3月10日

② イベント等でのグッズ販売

5月11～16日（国際バラとガーデニングショウ）、11月7日（駿河台大学駿輝祭）、11月9日（山口公民館文化祭）、3月17日（西武鉄道主催ウォーキングイベント）

③ 10月1日からトトロの森の間伐材を活用した商品「もりのたね」シリーズの販売を開始した。

④ ホームページにグッズカタログを掲載し、オンラインでの注文を開始した。

⑤ オンラインショップの開設に向け、検討をすすめた。

⑥ 2012年度新商品についての企画及び在庫品販売についての検討をすすめた。

## 狭山丘陵いきものふれあいの里センター指定管理業務事業報告書

(2011年4月1日から2012年3月31日まで)

### 1 管理業務の実施状況

「狭山丘陵の自然を通して自然について学習する機会を設け、県民の自然との触れ合いを推進し、自然保護思想の普及を図る」という設置目的を達成するため、小学校への職員派遣をはじめ、里山をテーマに様々なイベントを提供した。また、センターエリアや各管理地では、ボランティアの協力を得て、園路や林内整備、植生復元の実験などに取り組んだ。県民の自然ふれあいの場として、来園者が安全で快適に過ごせるよう随時管理地を巡回し、事故の未然防止に努めた。

なお、2011年度においては、下記の事項について特に配慮した管理を行った。

#### ① 「里山の維持管理に関する講座の開催」(新規)

里山のあり方や維持管理について理解を深めるため、先進的な活動や取り組みを行っている研究機関や団体から講師を招き講座を実施した。また、「田んぼのつどい」として、さいたま緑の森博物館や里山管理団体を招き、維持管理に関する情報の共有を図った。

#### ② 「季節の自然観察会」(新規)

狭山丘陵の自然について、テーマを掘り下げた専門性の高い観察会を実施し、プログラムの多様化を図った。

#### ③ 障がい者対象のイベント(新規)

障がいを持つことによって狭山丘陵の自然へのアクセスが困難な方を対象にどのようなサービス提供が可能か、新たな取り組みを試みた。

#### ④ 映像装置を活用した展示(新規)

館内に新設された大型テレビを使用し映像を使った自然情報の提供に努めた。

#### ⑤ 周辺の自然ふれあい施設等との連携(充実)

新規の取り組みとして、埼玉県立自然の博物館との「狭山丘陵のフクロウ展」や、東京都立狭山公園が設置する管理懇談会へ参加し、都県境沿いの樹木管理や看板内容の情報交換を行い、周辺の自然ふれあい施設等との連携を図った。また、継続的な活動として、東京都東村山市立八国山たいけんの里との「歴史散策会」を共催し、プログラム内容を充実させた。

#### ⑥ 教育機関等の環境学習への支援(充実)

教育機関への出前講座の実施回数を拡大した。また、継続的な活動として、小学校の「総合的な学習の時間」への職員派遣をはじめ、今後の環境教育実践のあり方をさぐるため、小学校教員向けのワークショップを開催し、支援内容の充実を図った。

#### ⑦ 地域の企業との連携(継続)

西武鉄道株式会社や株式会社三井ホーム、株式会社安心ダイヤル、NHKさいたま放送局などと里山の自然に親しむイベントを実施した。

(1) 自然観察会等イベントの実施

■ イベント一覧

イベント名	内 容	参加数	回数
【新規】 里山の維持管理に関する講座	里山の維持管理について理解を深めるため、研究機関等から講師を招いて講座を開催。	172 名	4 回
【新規】 季節の自然観察会	湿生植物や昆虫、水生生物などテーマを拡げて観察会を実施。	41 名	2 回
【新規】 障がい者対象のイベント	障がいをもつ方を対象にしたプログラムを実施。	52 名	2 回
【充実】 狭山丘陵ウォーキング	狭山丘陵の魅力を多くの県民に伝えるためにウォーキングを実施。	2963 名	4 回
【充実】 里山体験講座	昔の里山の暮らしや年中行事等の地域の文化・習俗を体験する講座。	177 名	9 回
【継続】 大人のための自然観察会	大人を対象にした狭山丘陵の自然を楽しむ初心者向け観察会。	61 名	5 回
【継続】 初めての自然観察会	親子で野外での体験活動始めるきっかけを提供する観察会。	80 名	3 回
【継続】 ひよこ探検隊	未就学児童と保護者を対象にした入門的な観察会。	42 名	3 回
【継続】 歴史陽だまり散歩	東京都東村山市立『八国山たいけんの里』と共催で実施。	28 名	2 回
【継続】 ガイド・ウォーク	季節に応じてスタッフが旬の自然を紹介する観察会。	119 名	20 回
【継続】 いきふれ探検	夏休み中毎日、セルフガイドシートを使ったオリエンテーションを実施。	36 名	16 回
【継続】 GW 特別企画 スライドショー	狭山丘陵の自然をパワーポイントを用いて紹介。	53 名	2 回
【新規】 フクロウ展連動企画講座	県自然の博物館との共催企画にてフクロウとエサのアカネズミについて講座を開催。	25 名	2 回
【継続】 いきふれボランティア説明会	ボランティア養成講座募集の説明会を実施。	2 名	1 回
【継続】 企業との連携イベント	地域企業と自然観察会を実施。 ※西武鉄道とのウォーキングを除く	183 名	5 回

※実施回数 80 回 参加人合計:4034 名

### 1) 【新規】里山の維持管理に関する講座の開催

里山のあり方や維持管理について理解を深めるため、先進的な活動や取り組みを行っている研究機関や団体から講師を招き講座を実施した。

講演名	講師名	実施日	参加者
みんなが暮らせる雑木林へ	倉本宣氏(明治大学農学部)	6/19(日)	48名
地域の農業者が担う里山保全	田極公市氏(町田歴環管理組合) 荻野豊氏(公益財団法人トロのふるさと基金)	9/25(日)	44名
狭山丘陵田んぼのつどい	・岸田んぼ(武蔵村山市野山北六道山公園) ・北野の谷戸保全プロジェクト&北野の谷戸の芽会(所沢市北野) ・糍谷八幡湿地保存会(所沢市三ヶ島) ・緑の森博物館西久保田んぼ(入間市宮寺) ・菩提樹田んぼの会(所沢市上山口) ・WAVOC(所沢市・早稲田大学内)	12/18(日)	60名
トラスト取得地での里山保全	浅野正敏氏(NPO 法人天覧山・多峯主山の自然を守る会)	2/18(土)	20名

※実施回数:4回 参加者合計:172名

### 2) 【新規】季節の自然観察会

狭山丘陵の自然について、テーマを掘り下げた専門性の高い観察会を実施し、プログラムの多様化を図った。

イベント名	内容	実施日	参加者
初夏の自然観察会 『飛ぶ宝石を探そう!』	シジミチョウを探し、捕獲や観察、識別の方法などを紹介。	6/12(日)	24名
秋の自然観察会 『柳瀬川のいきもの』	柳瀬川を通して水生生物と川の周りの生きものの繋がりを観察。	10/23(日)	17名

※実施回数2回 参加者合計:41名

### 3)【充実】狭山丘陵ウォーキング

初めて東京都立狭山公園と協力しウォーキングを開催した。秋色のトロの森ウォーキングでは、コースの多様性を出す為、初めて狭山湖 SP1 と湿性植物の里 SP3 両管理地をコースに取り入れ実施した。また、開催回数を増やし充実を図った。

イベント名	内容	実施日	参加者
秋色のトロの森ウォーキング	狭山湖 SP1 をスタートし、湿性植物の里 SP3 を経由するウォーキングを実施。	11/13(日)	101名
県境の尾根道 八国山緑地を歩こう	西武鉄道と協力をして、センターと SP5 を通るウォーキングを実施。	11/25(金)	1052名
春の狭山丘陵八国山緑地周辺を歩こう	西武鉄道と協力をして、センターと SP4、SP5 を通るウォーキングを実施。	3/24(土)	1090名
春のうららかウォーキング	東京都立狭山公園主催のウォーキングに協力参加	3/25(日)	720名

※実施回数4回 参加者合計:2963名

### 4) 【新規】障がい者対象のイベント

障がいを持つことによって狭山丘陵の自然へのアクセスが困難な方を対象にどのようなサービス提供が可能か、新たな取り組みを試みた。

団体名	内容	実施日	参加者
ろう者のための環境サークル「こもれび」	所沢特産の小麦を使ったゆでまんじゅうづくり	11/5(土)	9名
坂戸ろう学校「坂戸クラブ」	草木染め(チャヤスギの葉、クサギの実を使ってハンカチを染める)	11/19(土)	43名

※実施回数:2回 参加者合計:52名

## 5)【充実】里山体験講座

昔の里山の暮らしや年中行事等の地域の文化・習俗を楽しく体験し、狭山丘陵の魅力を再発見するため、地元の講師を招きイベントを実施した。また、初めて東京都東大和市立郷土博物館から石臼を、公益財団法人トロのふるさと基金からはホイロ台を借用してイベントの充実を図った。

イベント名	実施日	参加者	古民具の使用
『お茶摘みとお茶作りに挑戦!』	5/15(日)	24名	ホイロ台
『お茶摘みとお茶作りに挑戦!』	5/18(水)	21名	ホイロ台
『お茶摘みとお茶作りに挑戦!』	5/21(土)	24名	ホイロ台
『郷土食「ゆでまんじゅう」を作ろう!』	6/26(日)	12名	石臼、マツウラ
『月見だんごと十五夜かざり』	9/11(日)	30名	石臼、マツウラ
『ハンカチを自然の色で染めよう!』	10/15(土)	13名	-
『郷土食「うどん」をつくろう』	12/17(土)	18名	石臼、箕
『まゆ玉飾りで小正月を祝おう!』	1/15(日)	26名	石臼、もぐら打ち
『花炭作りと雑木林管理』	3/17(土)	9名	-

※実施回数:9回 参加者合計:177名

## (2)館内展示について

### 1) 館内、展示の内容

狭山丘陵に関係する動植物や歴史に関する展示を行った。また、屋外にある解説板ではエリア内で観察できる生き物の写真を掲示し、館内にある地図付き自然情報ボードでは情報を毎日更新した。

主な展示内容	展示時期
荒幡小学校との展示: 6年生がまとめた狭山丘陵についてのポスター展	4月(約1カ月)
雑木林の仲間たち: センターエリアの樹木について	4月~7月上旬 (約4カ月)
植物画展示 (堅香子の会の会員の原画を展示) 季節で観察出来る植物を原画で紹介	5月~7月末 (約3カ月)
夏休み企画 昆虫の知られざる世界カメムシの展示: カメムシの生体展示	7月中旬~9月中旬 (約3カ月)
ところざわ倶楽部共催展示: 歴史や地理などテーマごとに狭山丘陵を紹介	9月中旬~10月上旬 (約2カ月)
特別企画展 シダ植物展: センターエリアのシダ全14種類を解説	10月中旬~12月下旬 (約2カ月)
狭山丘陵のフクロウ展 埼玉県立自然の博物館共催: 剥製や触れる羽を使用しフクロウの生態を紹介	11月下旬~1月下旬 (約3カ月)

狭山丘陵温故知新・周辺見所案内： 縄文時代から現在までの丘陵を紹介	2月中旬～ ※一部延長
写真展 狭山丘陵彩景： 東京都の写真クラブの協力により実現	2月中旬～ (約3カ月の予定)
所沢市立泉小学校 ポスター展： 総合的学習の時間のまとめポスター展	3月(約1カ月)

## 2) 【新規】館内展示の連携について

狭山丘陵に関する動植物の企画展を定期的に行った。埼玉県立自然の博物館との共催で「狭山丘陵のフクロウ展」を行った。また「シダ植物展」では、シダの専門家の監修を仰ぎ、堅香子の会(植物画ボランティア)の植物画を有効活用した。

## 3) 【新規】映像装置を使った展示

館内に新設された大型テレビを使用し自然情報の提供に努めた。

主 な 展 示 内 容	展 示 時 期
旬の自然(植物や動物)をスライドショーにて上映	3月下旬～

## (3) 【新規】グリーンアーカイブスの設置

これまで蓄積してきた狭山丘陵に関する環境調査書のデータベースを作成した。資料の収集を継続的にを行いグリーンアーカイブスの充実に努めた。

## (4) 教育機関や団体への協力

### 1) 【充実】教育機関等への環境教育活動への支援

小学校の「総合的な学習の時間」への職員派遣では、綿密な打ち合わせを行い、各学校の要望を取り入れた教育プログラムを作成し対応にあたった。また、初めて所沢市立荒幡小学校6年生や所沢市立泉小学校3年生へ、活動をまとめたポスター展の会場を提供し、環境教育活動への支援の充実に努めた。

主 な 利 用 団 体 名	内 容	回 数	延 べ 人 数
所沢市立泉小学校3年生	昆虫や雑木林の観察	5回	466名
所沢市立荒幡小学校3年生	狭山丘陵の昆虫の観察	4回	306名
所沢市立小手指小学校4年生	生き物観察	4回	399名
所沢市立北秋津小学校3年生	野外活動	4回	381名
所沢市立荒幡小学校6年生	雑木林の管理について	2回	195名

※延べ34団体 人数3,102人

### 2) 【充実】狭山丘陵出前講座

都市近郊に残された貴重な狭山丘陵の自然について、利用団体のニーズに合わせて出前講座を実施した。また、出前講座の実施回数を増やすことで講座の充実に努めた。

学 校 名	内 容	人 数
所沢市立北小学校 4 年生	自分達が住む狭山丘陵	147 名
所沢市立泉小学校 3 年生	総合的学習の時間のまとめ	91 名
那須塩原市	狭山丘陵の現状と管理について	35 名
所沢市立南小学校 3 年生	総合的学習の時間のまとめ	31 名
埼玉大学教育学部	狭山丘陵の現状について	18 名
筑波大学坂戸高校 1 年生	狭山丘陵の現状について	5 名

※延べ 6 団体 327 名

### 3) 環境教育に関するワークショップの開催

小学校教員を対象とした「新たな環境教育の実践をめざしたワークショップ」を実施した。「総合的な学習の時間」の進め方や課題点について、教育現場で実践している教員とともに議論を行い、今後の教育実践の充実を図った。

講 座 名	日 程	参 加 者	参 加 学 校
新たな環境教育の実践をめざしたワークショップ	8/2(火)	4 名	所沢市立泉小学校 所沢市立小手指小学校 所沢市立若松小学校 所沢市立南小学校

※参加者合計:4名

### 4) インターンシップの受け入れ

環境教育に必要な実践能力を有する人材の育成と、狭山丘陵の保全に貢献できる後継者の育成に資するためにインターンシップを受け入れた。活動内容は、館内解説や展示物作成、イベントの補助、園路修繕などを行った。

学 校 名	人 数	受 け 入 れ 期 間
埼玉大学	2 名	6/27(木)～1/28(日)
筑波大学附属高校	5 名	7/26(火)
長野大学	1 名	8/2(火)～8/13(土)
東京農業大学	2 名	8/23(火)～27(土)
東京環境工科専門学校	1 名	11/20(日)～11/27(日)
所沢市立中央中学校	5 名	1/24(火)～1/27(木)

※参加合計:16名

### 5) 団体利用者への自然、館内解説の実施

幼稚園や公民館、一般団体などの利用及び施設見学者に対し、センターエリアのガイドやレクチャーなどを行った。

区 分	幼稚園 ・ 保育園	小学校 ・ 中学校	高 校 ・ 大学等	一 般	合 計
団 体 数	19 団体	53 団体	9 団体	171 団体	241 団体
利用者数	678 名	3,945 名	303 名	4995 名	10,353 名

※利用団体:241 団体 10353 名

(5) 【継続】 夏休み特別企画

夏休み中、自然を楽しみながら学んでもらうことをねらいとした「いきふれ探検」を実施。オリエンテーリング形式でセルフガイドシートを用意し実施した。

実施回数:16 回 参加者合計:36 名

(6) 【継続】 広報活動

1) 「NHKさいたま」との番組作り

狭山丘陵の自然の素晴らしさを自然の音と共に伝える番組を放送した。隔週の火曜日午後6時よりNHKさいたまFM(85.1)「日刊さいたまーず」にて「狭山丘陵森だより」として放送を実施した。

ラジオ番組	回数	内容
狭山丘陵森だより	22 回	狭山丘陵の自然情報を職員が収録した生き物の音と共に紹介。 例)オナガ、マガモの鳴き声など
国際バラとガーデニングショウの紹介	1 回	ブース内に特別企画としてトトロの森を設置し狭山丘陵の特徴などを紹介。
NHK環境キャンペーン 冬の鳥・虫探し	1 回	自然観察会での参加者の声や野鳥の鳴き声を収録し放送。

※NHKとの番組づくり:24 回

2) エフエム茶笛 (チャッピー) の番組出演と情報提供

エフエム茶笛(チャッピー)は、埼玉県西部地域・東京都多摩西部地域の情報を提供しているコミュニティFM局である。毎月第2木曜日に情報番組に出演し、センターの行事案内と自然情報の提供を行った。

ラジオ番組	回数	内容
花と緑の時間	11 回	センター周辺の自然情報や見所案内、イベント情報を放送。

3) マスコミ等への情報提供

テレビ局やミニコミ誌、読売新聞や東京新聞の地方版などに情報を提供しイベントの情報や施設の周知を図った。また、県や所沢市とも連携し所沢市報「広報ところざわ」に 12 回、「彩の国だより」に 5 回、イベントや自然の情報などを掲載した。

テレビ取材協力状況

テレビ番組	回数	内容
テレビ埼玉: テレ玉ニュース	1 回	埼玉県自然の博物館との共催展示「狭山丘陵のフクロウ展」を取材、放送。
NHK:首都圏ニュース 845	1 回	里山体験講座「まゆ玉飾りで小正月を祝おう!」の取材、放送。

主な掲載媒体及び掲載回数

名称	発行地域	形態	発行団体	掲載回数
広報ところざわ	所沢市	市報	所沢市	12

彩の国だより	埼玉県	県報	埼玉県	5
西埼玉ぱど	西埼玉	冊子	株式会社西埼玉ぱど	4
e-Toko	所沢市	雑誌	すまいる広告事業協同組合	3
川越所沢ウォーカー	全国	雑誌	角川マガジズ	1
読売新聞	埼玉県	新聞	読売新聞	1
市民新聞	所沢市	新聞	読売新聞	1
熟年ばんざい	所沢市、入間市	冊子	すまいる広告事業協同組合	1

※掲載回数:28回

#### イベントポスター・チラシの掲示実績

項目	内容	回数
毎月のイベントポスター	ガイドウォークや各イベントの詳細を紹介	12回
企画展ポスター	写真展 狭山丘陵彩景、特別企画シダ植物展、狭山丘陵のフクロウ展	3回

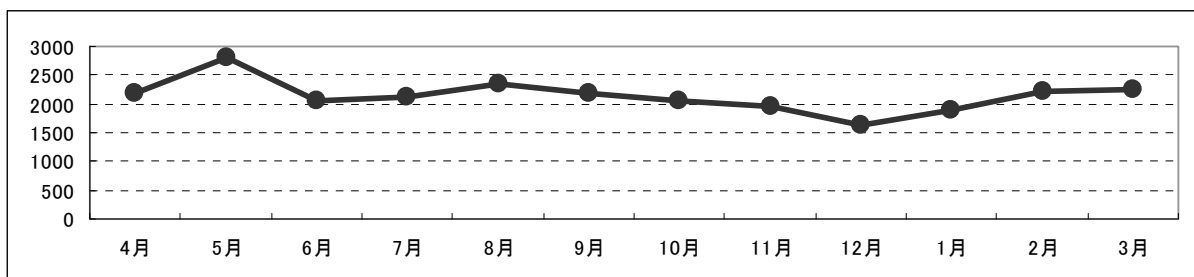
#### 4) 広報紙等の発行

センターの活動紹介やイベント、自然情報を掲載した自然情報誌「いきふれ通信」を4回発行し、所沢市内すべての小学校と公民館、地区の自治会、首都圏の関連自然施設に送付し、施設やイベント情報の周知をはかった。特に、センターが隣接する2つの自治会では全世帯約200戸に通信を配布した。

#### 5) ホームページの運営

彩の国だよりや所沢市報を見た利用者が当センターのホームページを閲覧してからイベントに参加するケースが増えている。そこで、他の広報媒体との連携を意識した情報の更新を行った。また、企画展や館内の取り組みを掲示する「お知らせページ」や「いきふれの会の活動」をブログで定期的に更新した。

#### ホームページ閲覧数



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
月間閲覧数	2187	2790	2054	2110	2358	2189	2059	1951	1637	1896	2214	2262

#### (7) 【継続】地域企業との連携

地域企業と連携して、狭山丘陵の素晴らしさ、センター施設を周知するためにイベントを行った。

企業名	実施時期	内 容
西武鉄道株式会社	11/25(金) 3/24(土)	西武鉄道が主催するウォーキングイベントに協力団体として参加。
株式会社 三井ホーム	8/20(土)	スポット4やクロスケの家周辺での自然散策と工作教室を実施。
株式会社 安心ダイヤル	8/10(水) 8/21(日) 10/16(日)	社員の家族を対象に自然観察会を企画・実施。
NHKさいたま放送局	6/25(土) 2/19(日)	一般公募して「トトロの森のたんけん隊 お茶作り」、「トトロの森のたんけん隊 冬鳥と虫探し」を実施。※2月19日のイベントはセンター行事「初めての自然観察会」と共催で実施。

※実施回数:8回 参加合計:2294人

## (8)【継続】関係団体との協働

### 1) ボランティア育成・埼玉県狭山丘陵いきふれの会

センター管理地域を中心に定期的な巡回や作業を行うとともに、自然情報の収集やイベントのスタッフ補助などに取り組んだ。スポットエリアの維持管理や、来訪者対応の向上を図った。特に、スポット5ではエリア内のササを一部刈り、植生復元の試みを行った。また、研修会を開催し組織のスキルアップを図った。

活動分野	実施回数	述べ参加者	主な内容
巡回・調査	19回	46名	各スポットの巡回、自然情報の収集
里山管理作業	5回	23名	解説看板の修繕、園路柵の修繕、園路の草刈など
イベント補助	18回	34名	お茶摘み、夜の自然観察会、大人のための自然観察会など
その他	8回	68名	定例会、研修会など

※総活動数:50回 延べ人数:171名

### 【継続】いきふれの会スキルアップ講座

場 所	実施時期	目 的
東京都八王子市立 長池公園	11/19(土)	東京都多摩地域に位置し、先進的な取り組み進めている自然公園の管理状況等を視察し、今後の活動の参考にした。

※参加人数:6名

### 2)「堅香子の会」や「ふれ炭会」との協力

堅香子の会とは、原画展の開催や特別企画シダ植物展を実施した。また、ふれ炭会とは地元の学校へ炭焼き体験の講師など授業へ支援を仰ぎ、協力して実施した。

## (9)【継続】館内（窓口）解説の充実

常に来館者とのコミュニケーションを心がけ、来館者それぞれのニーズに合った情報の提供等を行った。

※利用者等への情報提人数:4072人

## (10) 運営協議会の運営

センターの円滑な管理運営を推進し、施設の有効活用を図るために、埼玉県狭山丘陵いきものふれあいの里センター運営協議会(以下「協議会」という。)を3回開催した。(6月、11月、3月)

- ・協議会委員 学識経験者、地域団体及びセンターボランティア団体の代表者、  
地元学校等 計 9名
- ・協議事項 事業実施状況、管理運営の方向性等について

## (11)【継続】 施設の維持管理

### 1) 施設の維持管理

施設の維持管理(夜間警備や空調設備、消防設備の保守点検、施設の清掃)については、それぞれの専門業者に委託することにより適正な管理を行った。

その他、節電への対応として、館内照明のLED化や間引き照明、暖房機器使用の抑制などを実施した。

### 2) 管理地の環境管理

職員が日常的に管理地内を巡回し、安全上の確認や環境美化、園路の軽微な修繕を行った。また、ボランティア(いきふれの会)と共にスポットエリアの維持管理や、来訪者対応の向上を図った。特に不法投棄や不審火の多くなる季節などは、所沢市や消防、警察とも連携し巡回を強化するなどの対応をとった。

園路、草地などの定期的な草刈り、茶畑の剪定、樹木の伐採(緊急性の高い危険木)、木柵の交換などを行った。また、枯損木や台風による倒木の情報など、関係機関と連絡を緊密に取り合い事故の防止に努めた。

## (12)【継続】 緊急時の対応

緊急時連絡網や緊急時の対応マニュアルに基づき、通報訓練や普通救命講習を受講しAEDや緊急時の対応を確認した。また、地元自治会との情報交換を行い事故の防止を図った。

項目	内容
普通救命講習	AED導入に併せ職員研修の一環として開催。来訪者を想定した安全体位確保方法や幼児への救急時の対応を確認。
通報訓練	緊急時対応マニュアルに基づき、緊急時連絡フロー図を作成し消防署を始め関係機関へ通報訓練を行った。

## (13)【継続】 その他の自主事業

狭山丘陵の自然の素晴らしさを伝えるため、「狭山丘陵いきものふれあいの里の植物図鑑」や「植物画ハガキ」の頒布などを行った。

## 2 施設の利用状況

### 1) 利用者別利用状況

区分	大人			小人(中学生以下)			合計
	一般	団体	計	一般	団体	計	
入館者数	12,605	5,298	17,903	2,370	5,055	7,425	25,328

### 2) 施設利用状況 (利用施設区別)

区分	講義室	展示室
利用件数	75件	0件
利用者数	817人	0人

※利用団体は、地元小学校や俳句の会、センターボランティア(いきふれの会)(ふれ炭会)(堅香子の会)など。